



目次

- 「JK」
下野ゲノゲ… 2
- 「プリムラマラコイデス」
オヒツジ… 8
- 「あの夏、君と共に。」
1103… 14
- 「死神先輩！」
檸檬… 20
- 「2人の旅路～世界を感じて～」
片桐賢太郎… 26
- 「魔女と友達になる方法」
ミカツキモ… 33
- 「オーシャンネイバー」ヒトデ… 39
- 「第六次 川中島の戦い」羽子… 45
- 「御守り」塩ラーメン… 51
- 「やしまのたたかひ」
four … 57

ここは地獄…

つみ
罪を犯した人間が
死後向かう場所—

そんな地獄にも
JKは存在した！

JK JIGOKU NO
KOUKOUSEI
下野ゲノゲ
GENOGENOGE

たぴ…?
なあに?それ

ふたり
二人はさあ…
たぴおかみるくていーって
知ってるか?

そんな顔しないで!

なんかあゝ
等活地獄らへんで
流行ってるらしくて…
人間界でたま

なるほど〜!
等活地獄は
軽罪人も多いから
人間界のお店とかも
あつたりするしね

炎熱地獄みたいな
ド田舎じゃあ
入ってくるのは
まだまだ先か…
じんかん

男 女
にんげんかい
とうかつ
しょうかつ
じごくイメージ図

無いなら作ればいいの!





よし完成!
わたくしとくせいじごく
の私特性地獄たびおか!
飲んでみて!

はら
腹をくくれ...
アタシ...



タピオカよりも
流行った



JIGOKU / NO
KOUKOUSEI

おわり

うんっっっっま...



あとがき

部誌をお手にとっていただきまして
誠にありがとうございます。
3年目もギリギリ脱稿でしたが、
楽しくかけたのでよかったです！
やっぱり漫画をかくのってとっても難しいですね。
毎年漫画家さんその他漫画をかいている方々
を尊敬しまくっています。

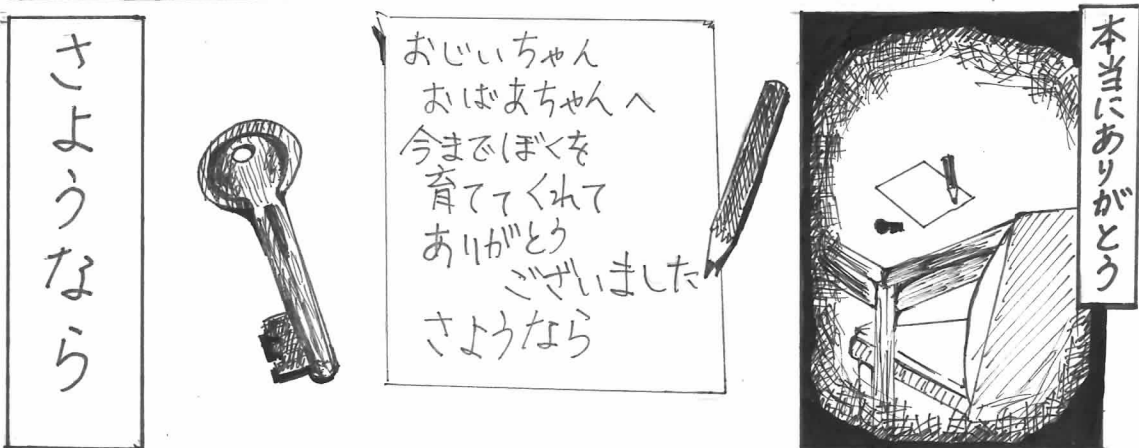
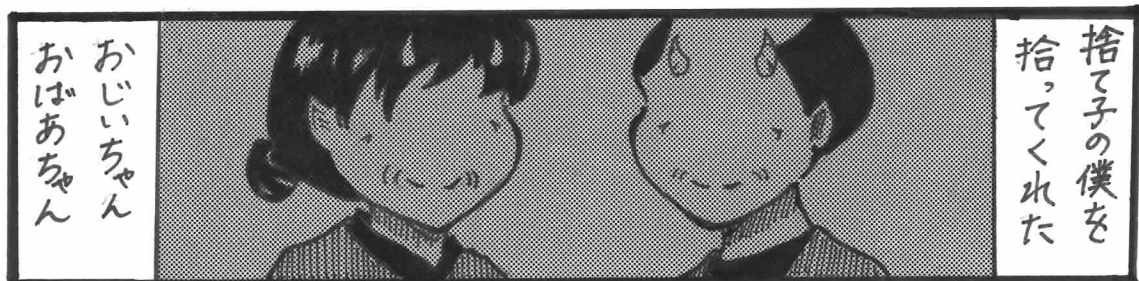
ところで。
タピオカっていつごろからあるんでしょうか。
少なくとも私が物心ついたときにはラピアあたりに
あったような気がします。何度目のブームなんでしょうか。
タピオカは好きな方です。並ぶのは嫌ですが…！





7
JK JIGOKU NO
KOUKOUSEI
下野ゲノゲ
GENOGENOGE

プリムラマラコイデス オビツシ



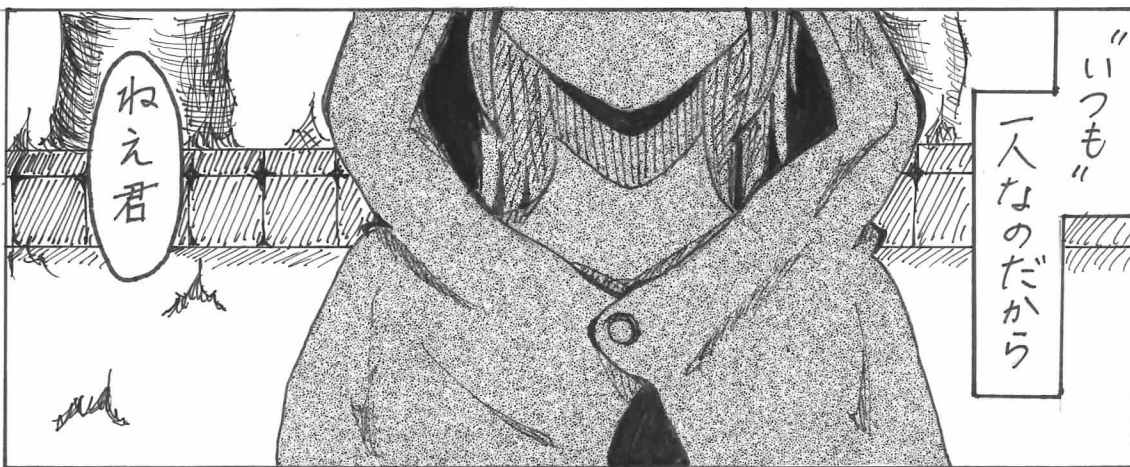
家出してしまった

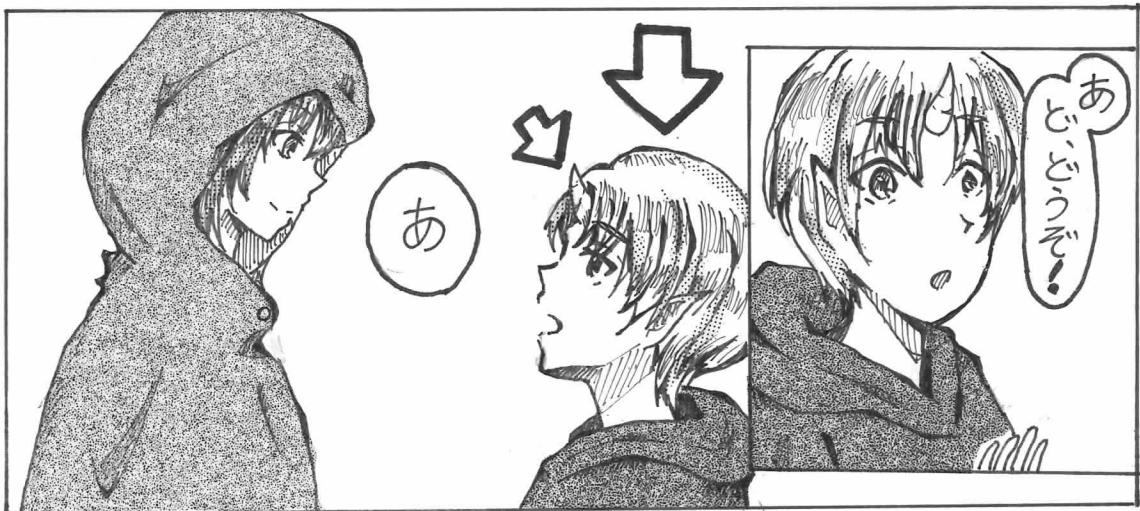


はあ...

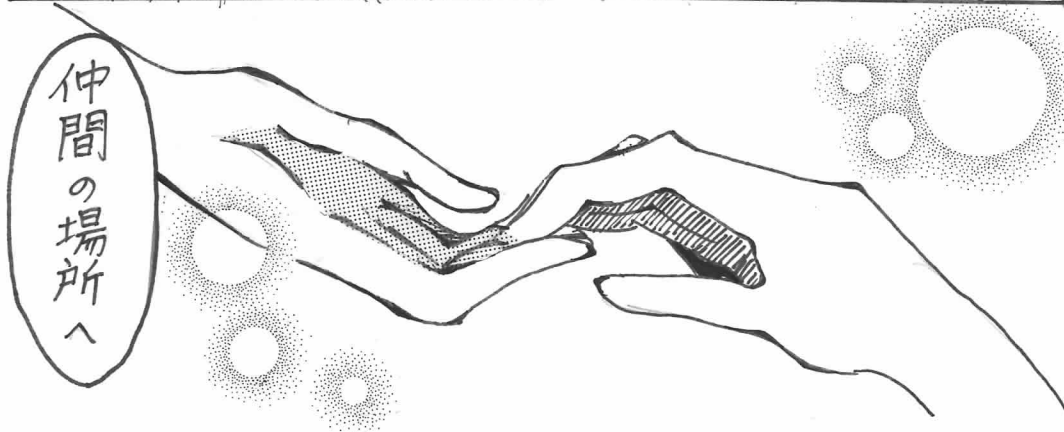
これからどうしよ...

出来損いの自分は











あとがき

プリムラマラコイデスを最後まで読んで頂き
 ありがとうございます
 「プリムラマラコイデス」とは最後に出て来た花
 で花言葉に『運命を切り開く』というものが
 あります。(一番好きな花言葉です。)
 この話は、2年間人間続きだったので
 人外かきたいなあ...
 と思った結果です。
 オヒツジでした

あの夏、君と 共に。

1103.

ある日、僕の目の前に現れたのは、
自称同級生の、少し変な
幽霊だった。

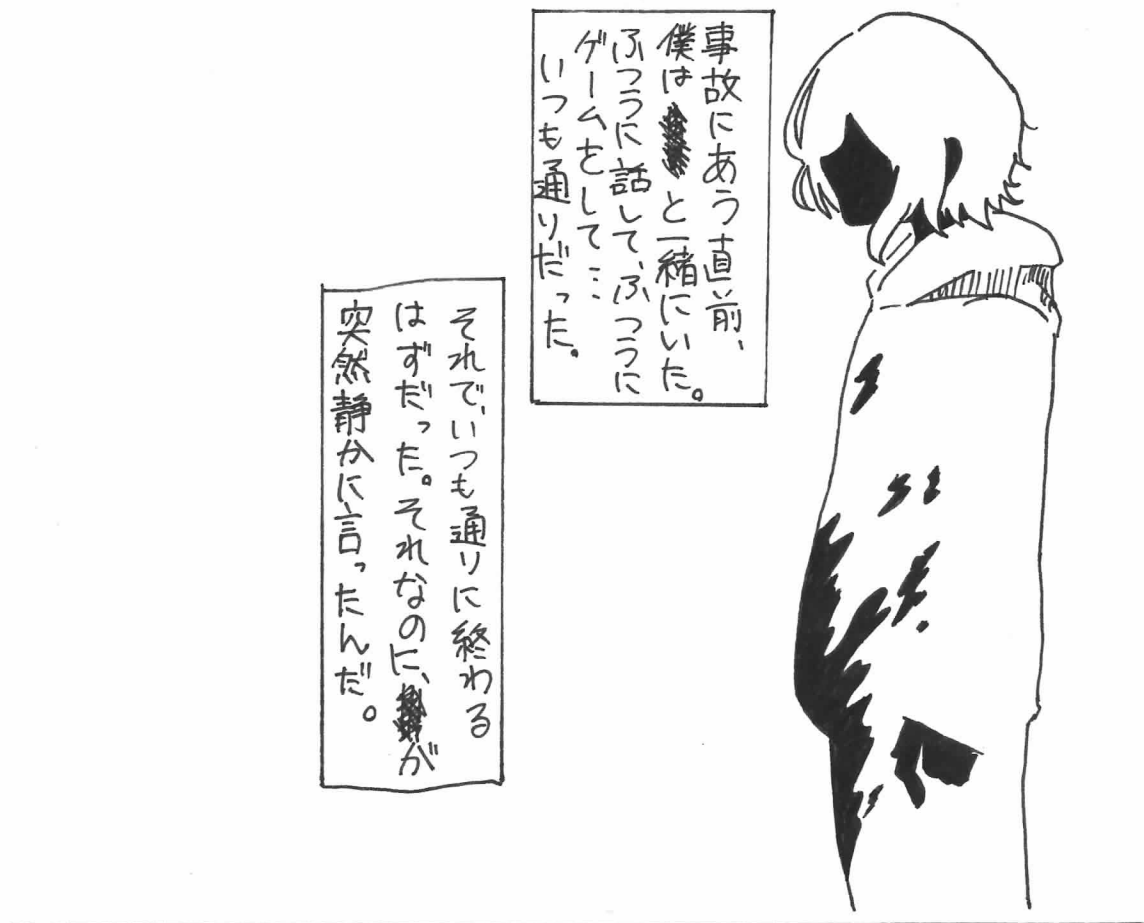
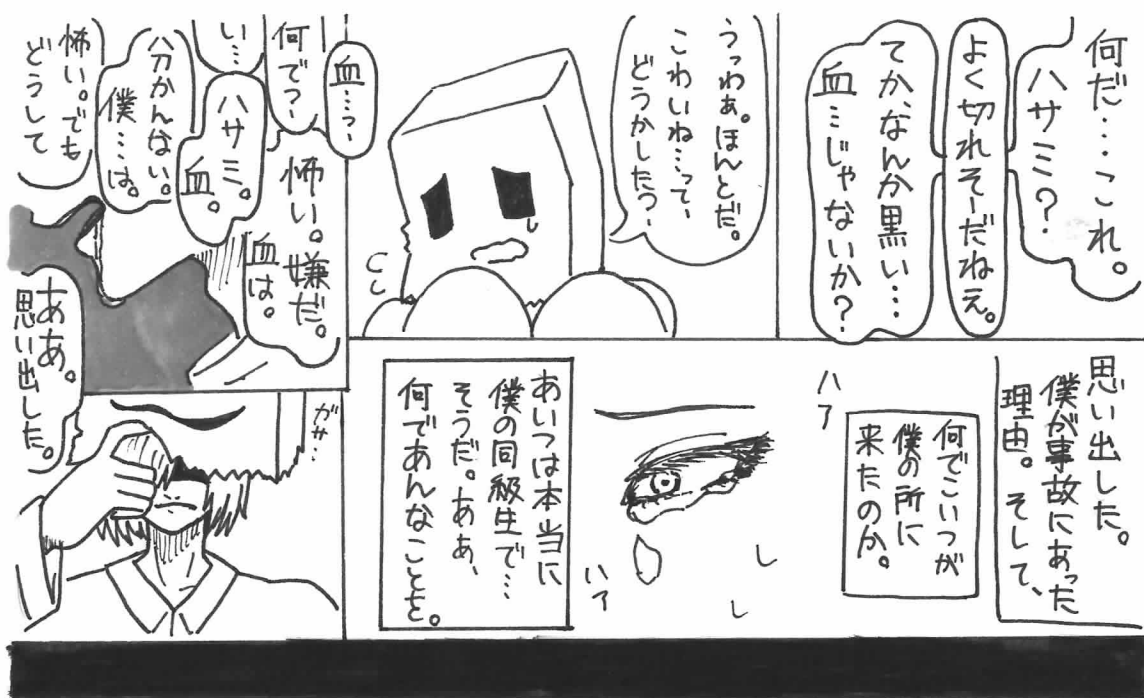


～数ヶ月後～



お外へ。





自殺



する

「おはようね……なんでもかいていまして、毎日こうして」

「嘘だよね、そんな自殺なんて嫌だ。」

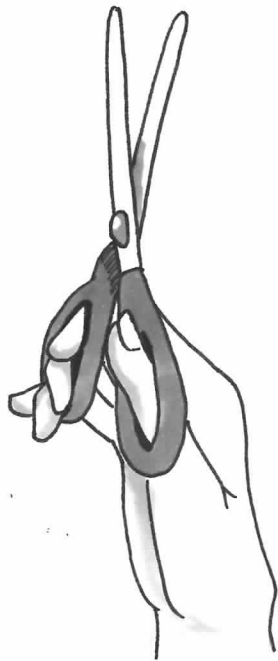
僅も棄てざるのや
許さなは
絶好

それなのに、~~僕~~は死ぬなんて
言うのだ。僕が自殺しようとした
とき、引きとめたその声で。
裏切られた。そう思った。僕らは、
お互いさえないわばいいと思つていた。

イモ、ちがった。

僕はずっとこのまま
楽しく過すごせると
思っていた。
ひとりの僕にとって、
~~僕~~は依存先に
なっていた。それなの
に、僕はああ言われ、
ひどく裏切られた
気持ちになった。

それで、気付いたときには、



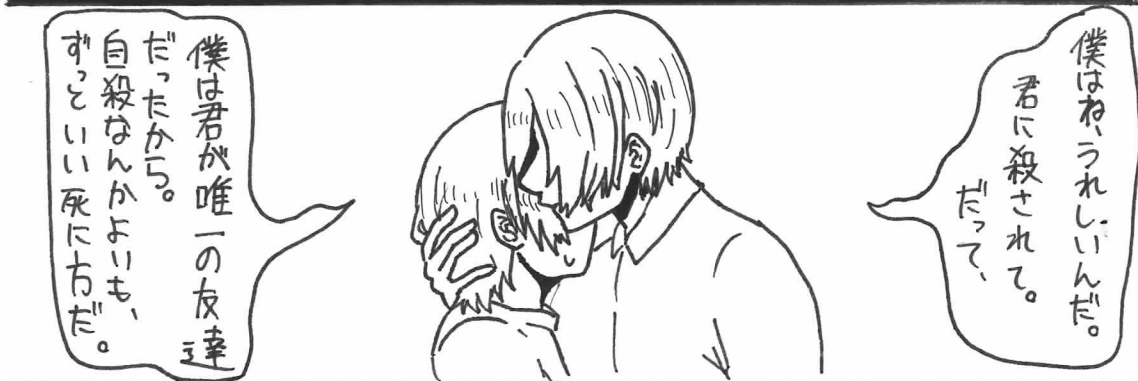
手に持、たハサミが汚れていた。

その後はあまり覚えていない。
我にかえた後、僕は焦って
家を出て、夢中で、必死に
走った。一刻も早く帰って
眠ってしまいたかった。
とにかく恐ろしかったんだ。
自分がしてしまったことも、
自分が考えたことも、
手に残る感触も。

そうやって、周りも
見ずに走っていたとき、

僕は、

事故に遭って、
そして、
記憶が抜け落ちた。



ああ、そうか。きっと。



あ と が き



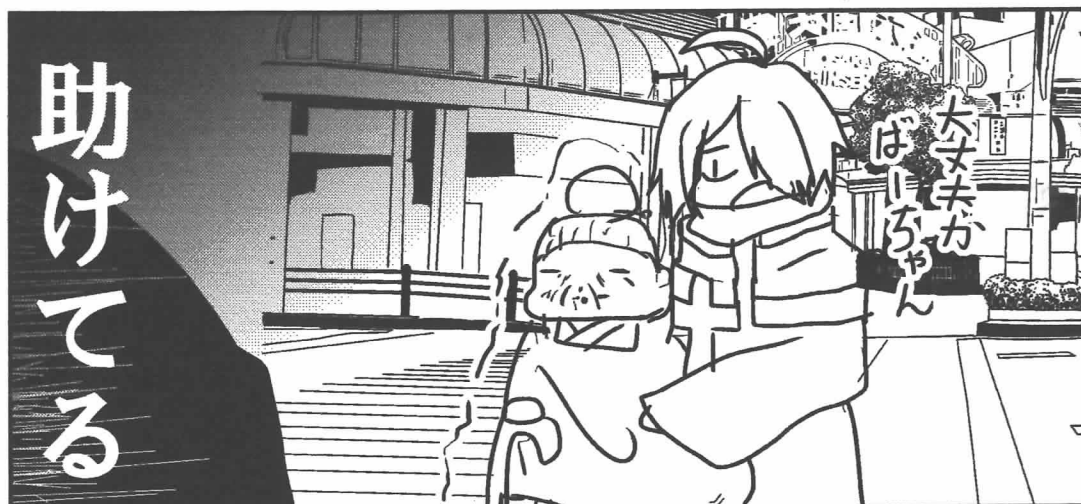
※ パーツ数の都合で、話が意味わからん...って感じになってる気がします。申し言えない...いきなり始まっていきなり終わる感じのシリアス(?)漫画です。読んでくださった方、本当にありがとうございます。上のところにちょっとしたキャラ紹介、下には話の流れ書いときます。

20XX年の夏、僕は記憶喪失で入院中だった。そんな中、ある日目の前に現れたのは僕の同級生を名乗る幽霊だった。初めは驚いたけれど、次第に慣れ退院する頃には仲の良い友人になっていた。退院して初めての夏、僕は幽霊といつものように散歩していた。歩いていると草むらに何か光るものがあり、それはよく切れそうな、乾いた血の付いたハサミだった。遠く意識の中、僕はある夏の日の記憶を取り戻す。視界の隅で幽霊は冷たい目をしていた。あの夏の日、僕は彼と家でだらだらと過ごしていた。僕らはお互いしか友達のいないような奴らだったけど、それで良かった。それが、良かったのに。あいつは急に「明日、僕は自殺する。」なんて言いだして。僕はどうしようもなく苦しくなった。「どうして。僕ら、お互いが居ればいいだろ。お前は僕を裏切るのか。なんで。なんで。」気づいたら君は冷たくなっていた。我に帰った僕は無我夢中で走った。そして、事故にあって、記憶を失った。補足(?)：幽霊=殺した友人。パニックになった「僕はハサミで友人を×してしまった。」の後の2人、彼が死にたかった理由。解釈は全て、ご想像にお任せいたします。」

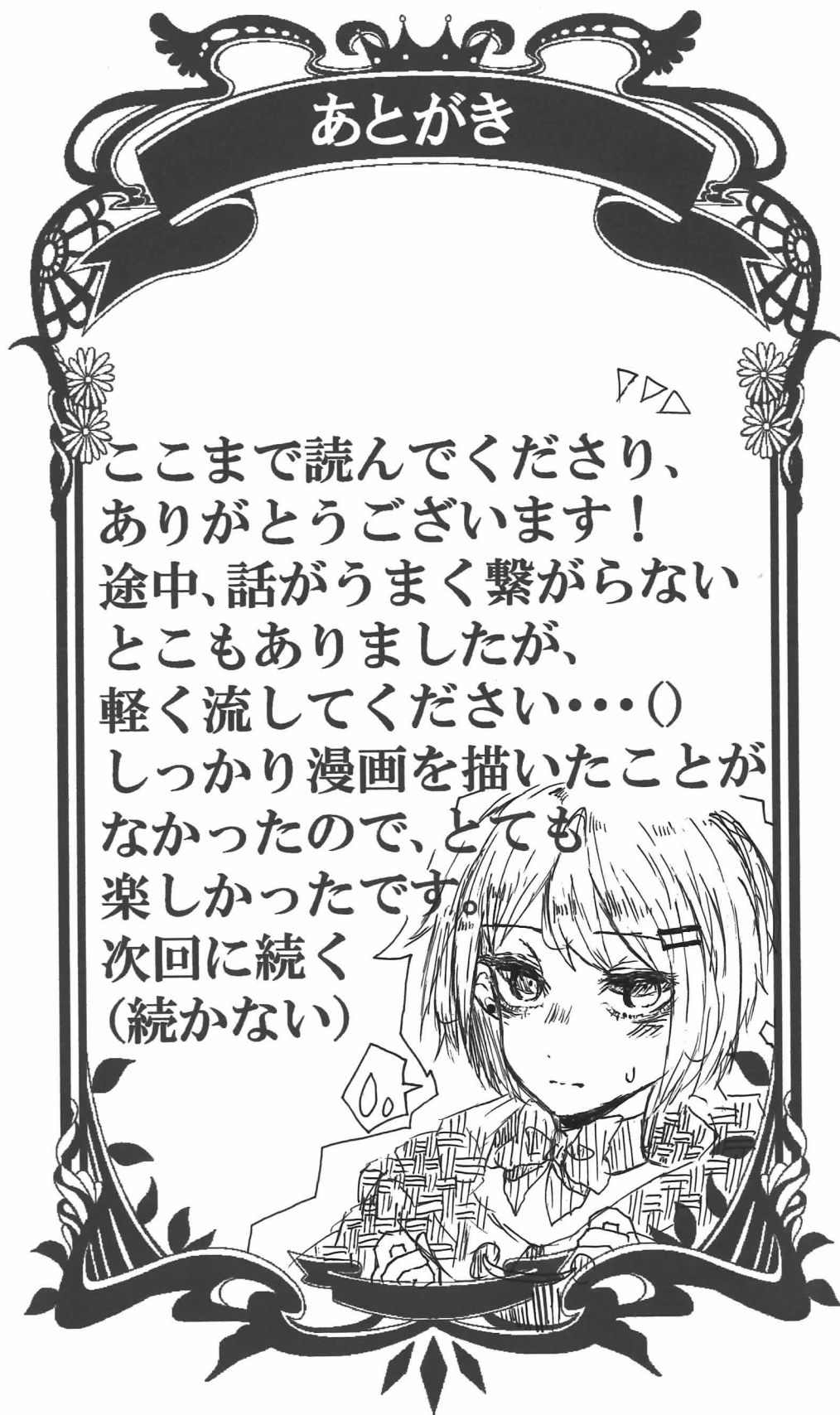


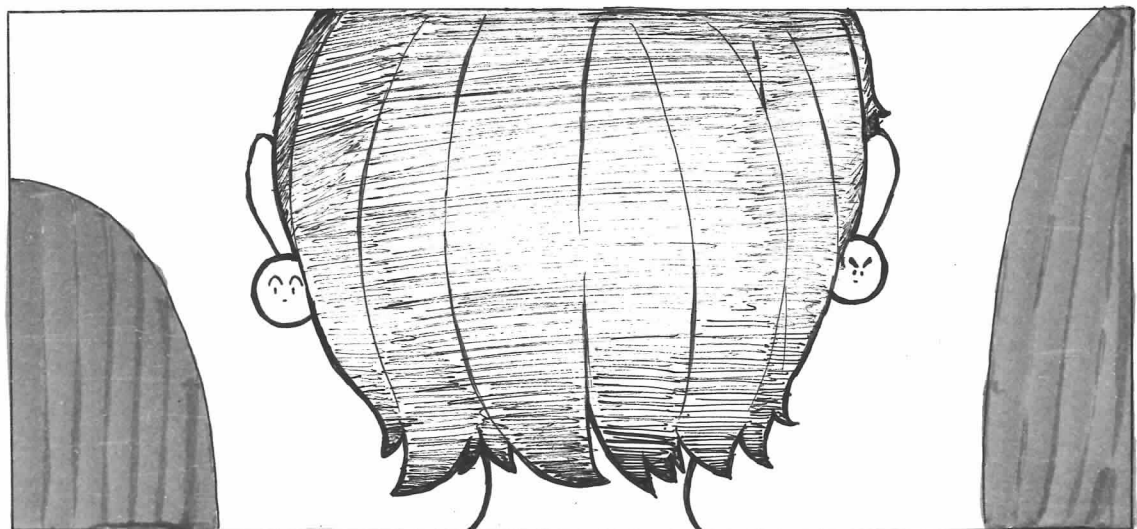
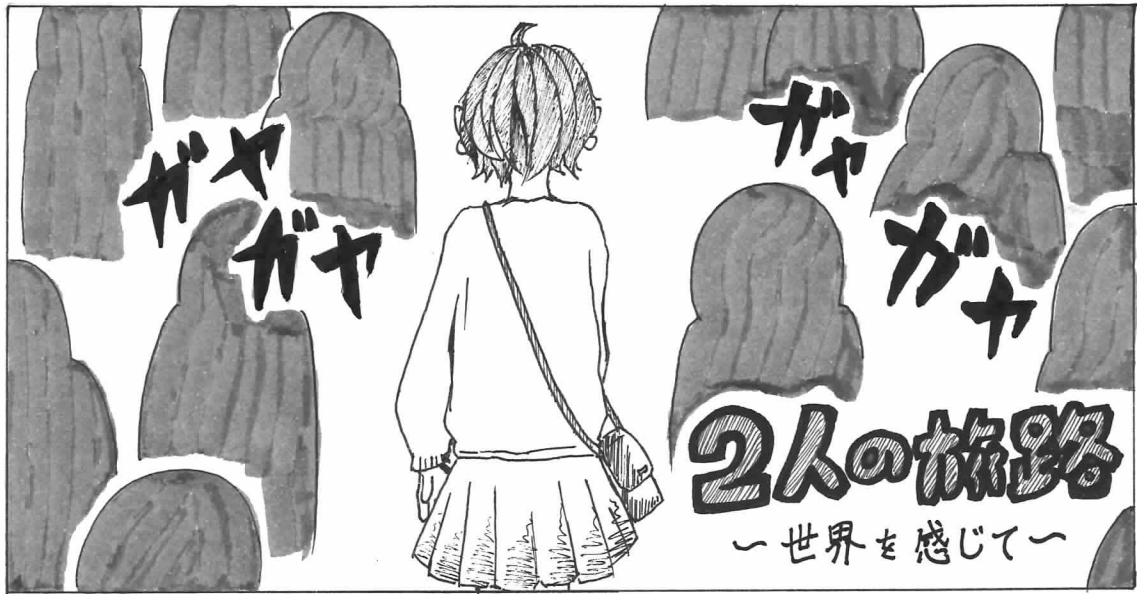


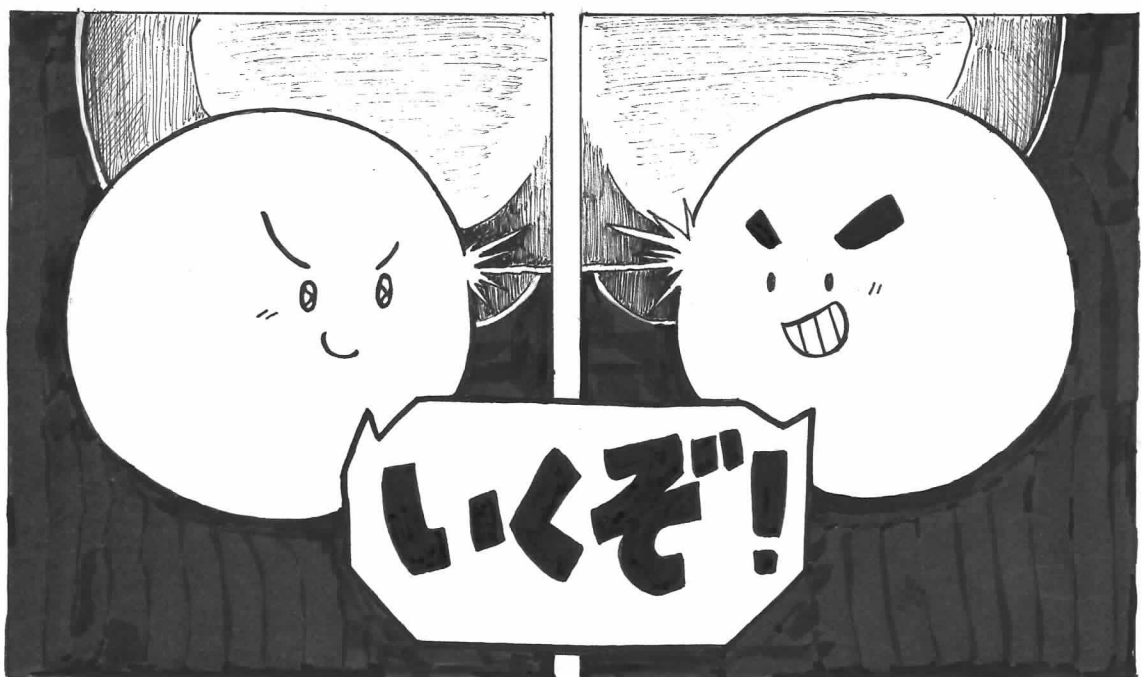
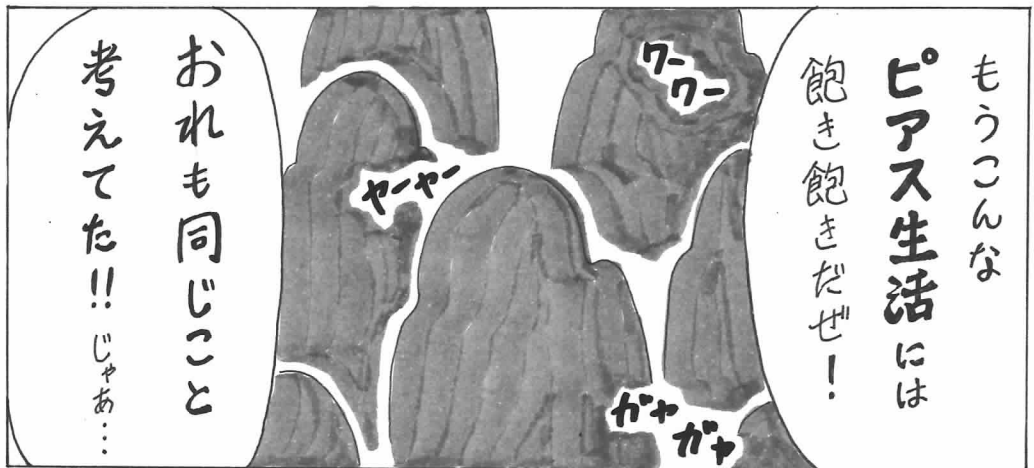




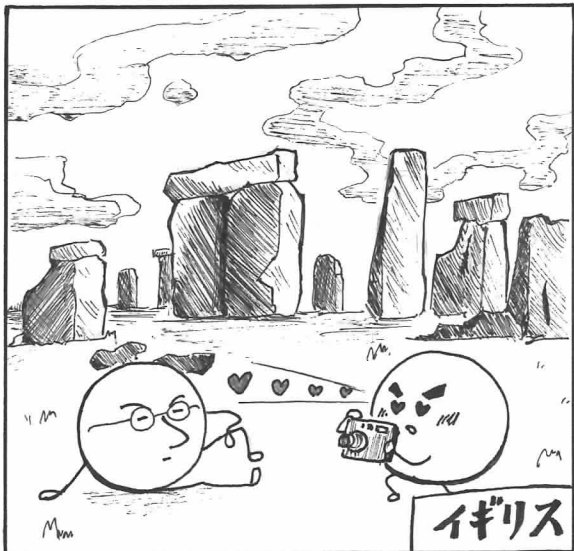
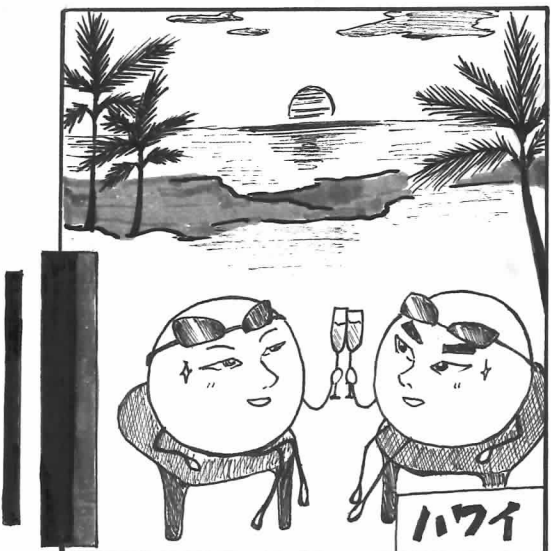
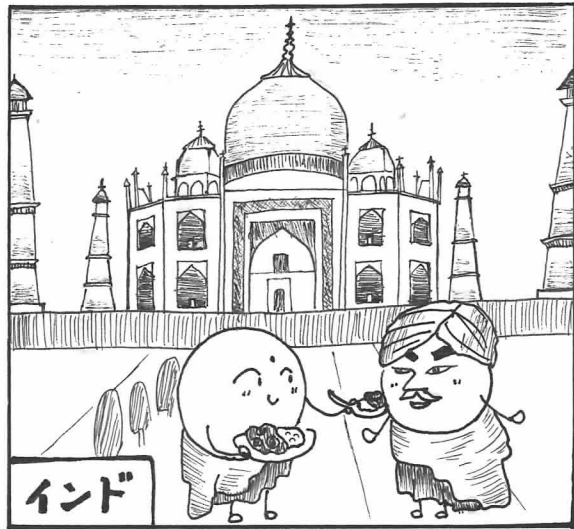
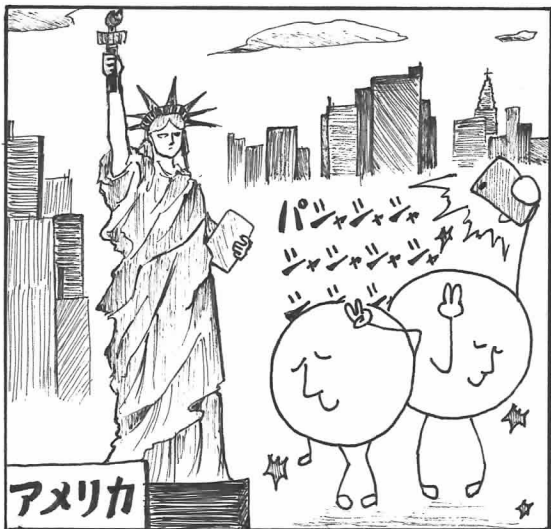
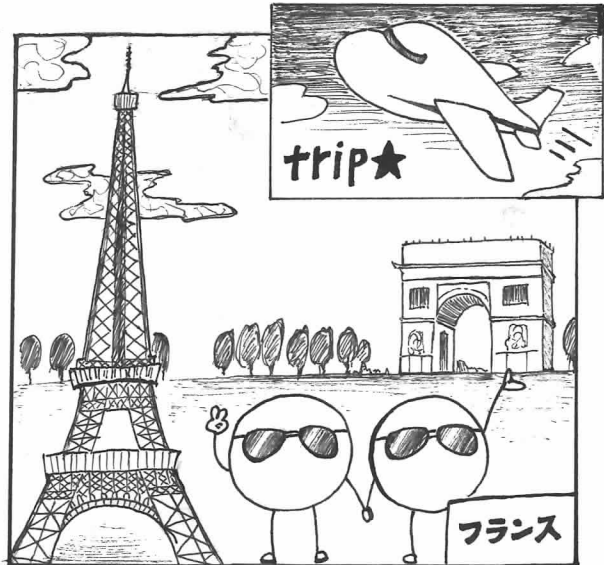
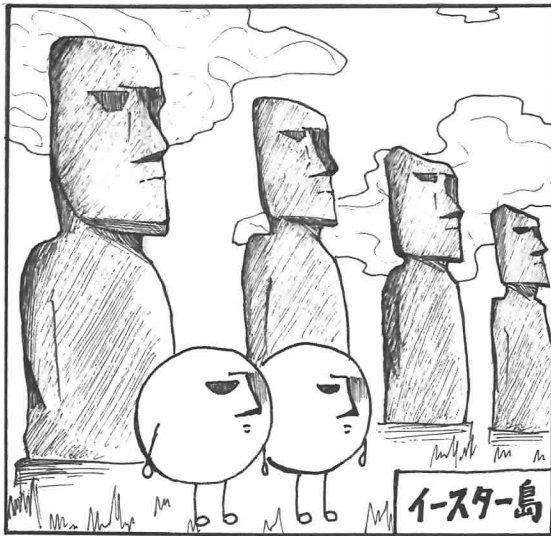


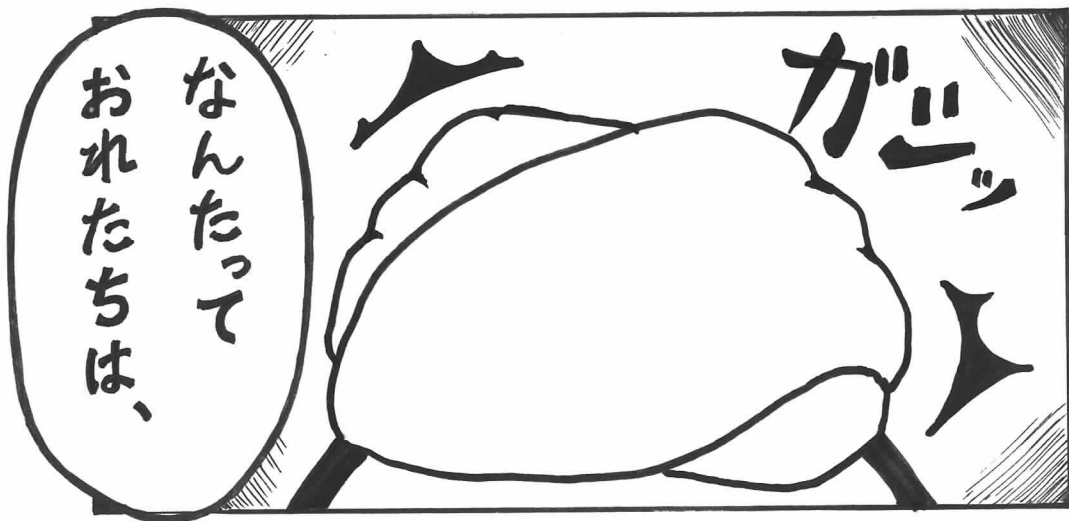












最高のパートナー

だからな——



完



Rabbit " on the earth "

魔女と友達になる方法

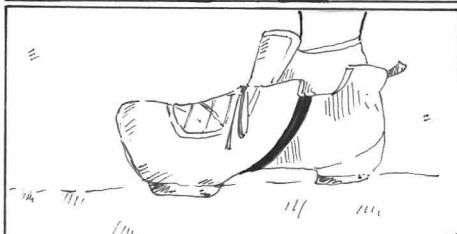
ミカツキモ



孤独で冷酷な
魔女の住む森



街のはずれには森がある。
人の寄りつかない深い森



あら、今日も来たの？
毎日魔女に会いにくるなんて
ほんと物好きね。











★ ★ ★ あとがき ☆ ☆

★ ページ数の都合上、なかなか分かりづらい結末
★ になってしまったのですが、

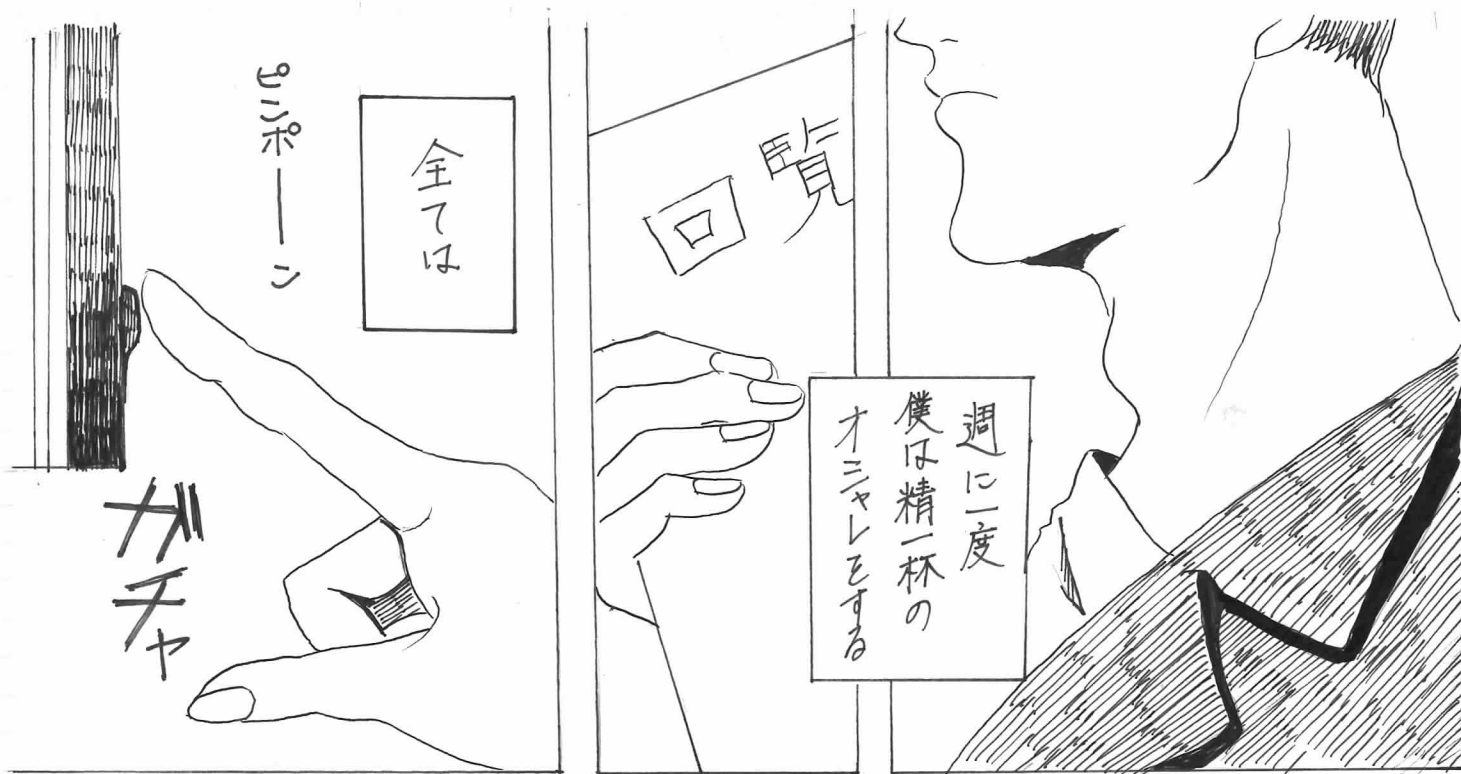
★ 魔女であるクリスは人や動物よりも命が長い
★ ために、彼女の魔法「生き物をモノ（人形）に
★ 変えてしまう」カを使って、ずっと側に置くことで
★ 決して別れることのない「友達」をつくらうとする。
★ 作中でクリスのセリフに「友達」にしか魔法が見せ
★ られない」とあるのは、魔法を見るのは自分が人形に
★ 変えられる瞬間、つまり、クリスにとっての「友達」になる
★ こと。

★ という感じのストーリーでした。（結局分かりづらいですね…）
★ 今年も昨年に引き続き魔女がメインの話を描かせていただ
★ いたのですが、これまでハッピーエンドの作品だったので、
★ 自分でも「結末暗すぎか…？」と思いつつ、描いていて新鮮でした。

★ 案の条 今回も締め切りに追われて、至らないところも
★ 多い作品だったと思いますが、温かい目で見ただけだと
★ うれしいです。

★ ☆ 読んで頂きありがとうございました!!





オーシャンネイバー

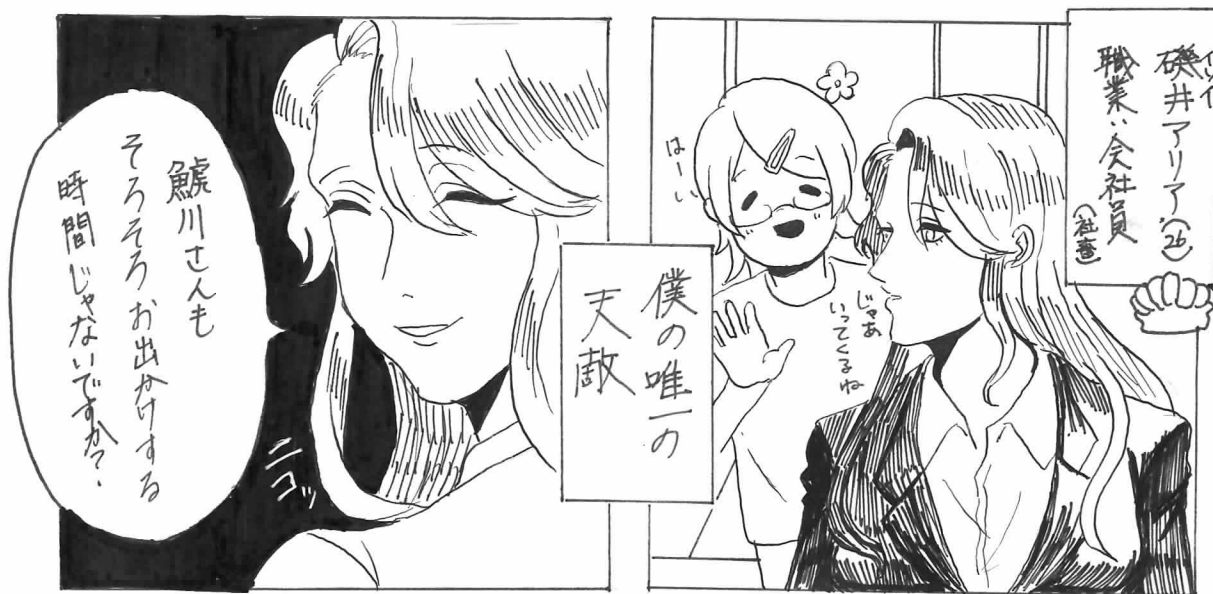


ライバル

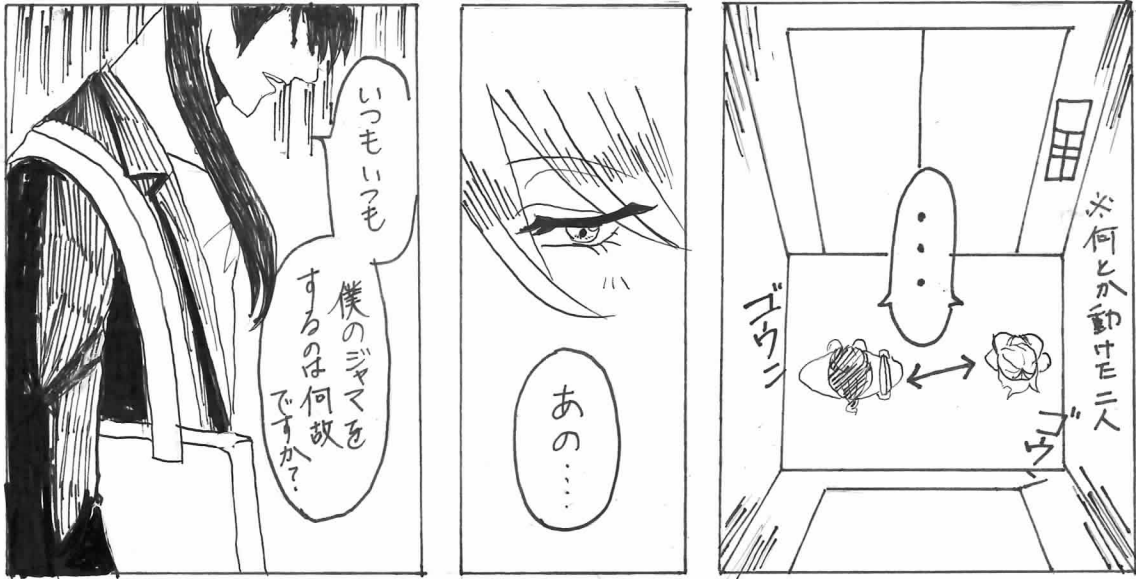


類友

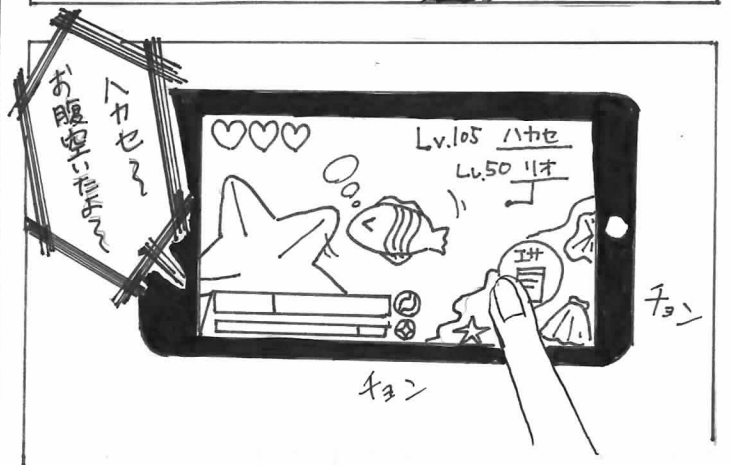
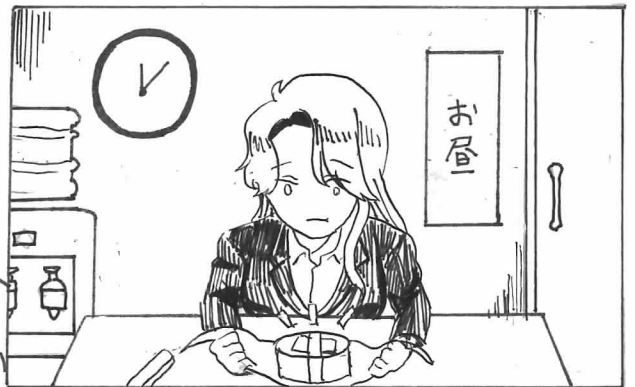
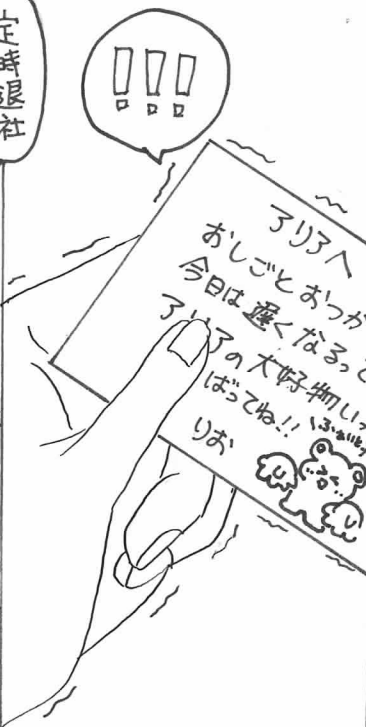
41



ピュア(?)



43

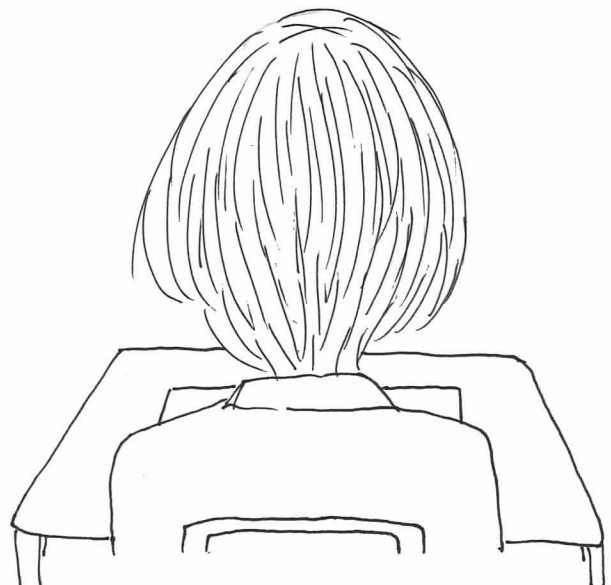
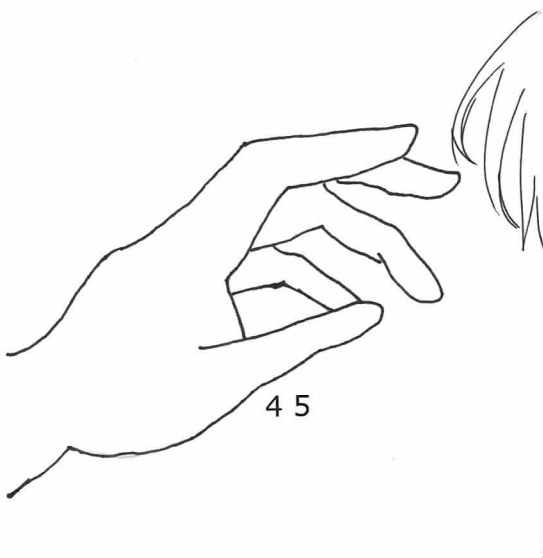


お似合い



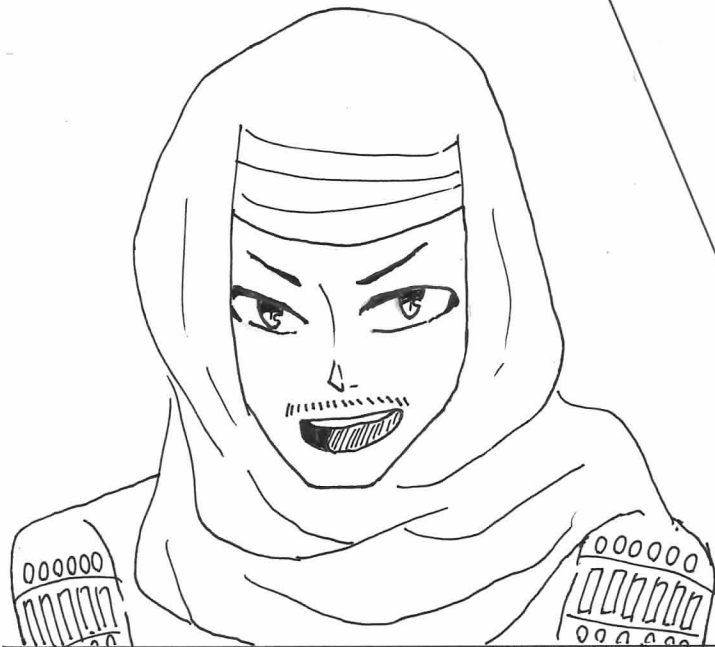
第六次 羽子 川中島の戦い

⚠ 注意
本作品では
上杉謙信女性説 を用いています。





それは
きこって
あの一騎討ちの
ときの夢



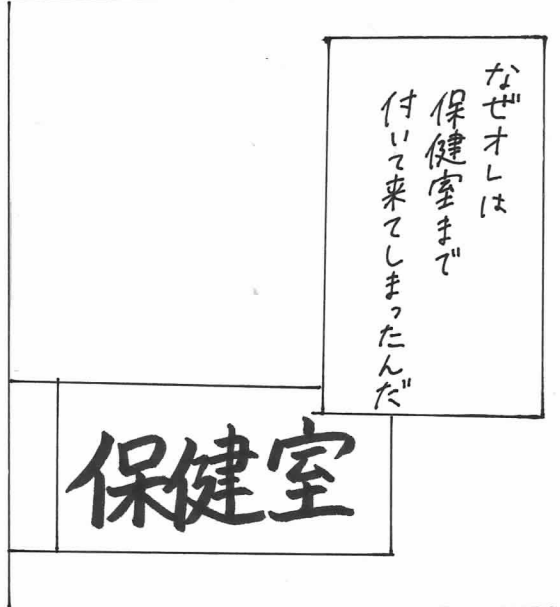
あの
先生 保健室
行ってきます

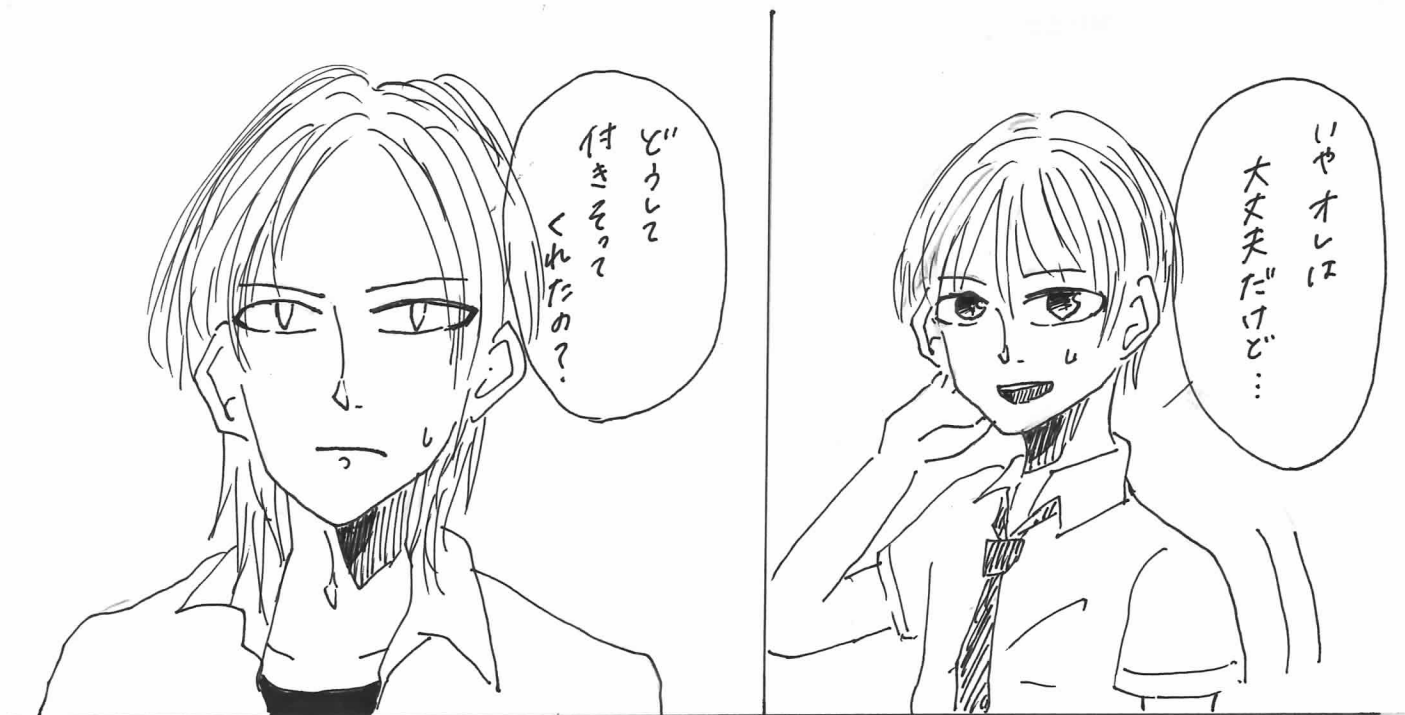
はい

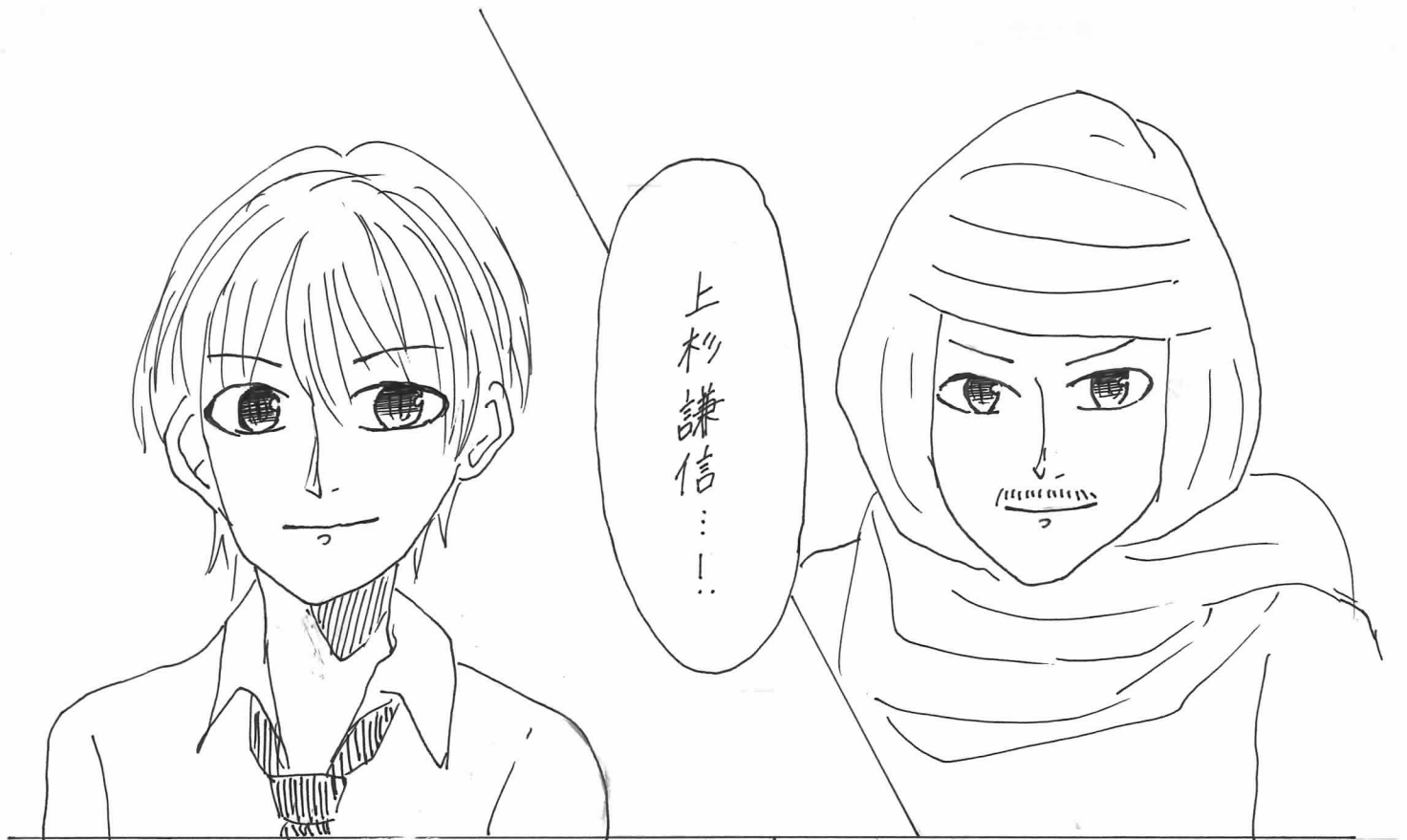


なんでコイツ
立って...?

00
46







SPECIAL THANKS

- 部員のみんぱ
- 音楽部3年
- お友達のみんな
- 武田信玄様
- 上杉謙信様
- 描き上げた自分

こんな嘘も
見抜けないうなら

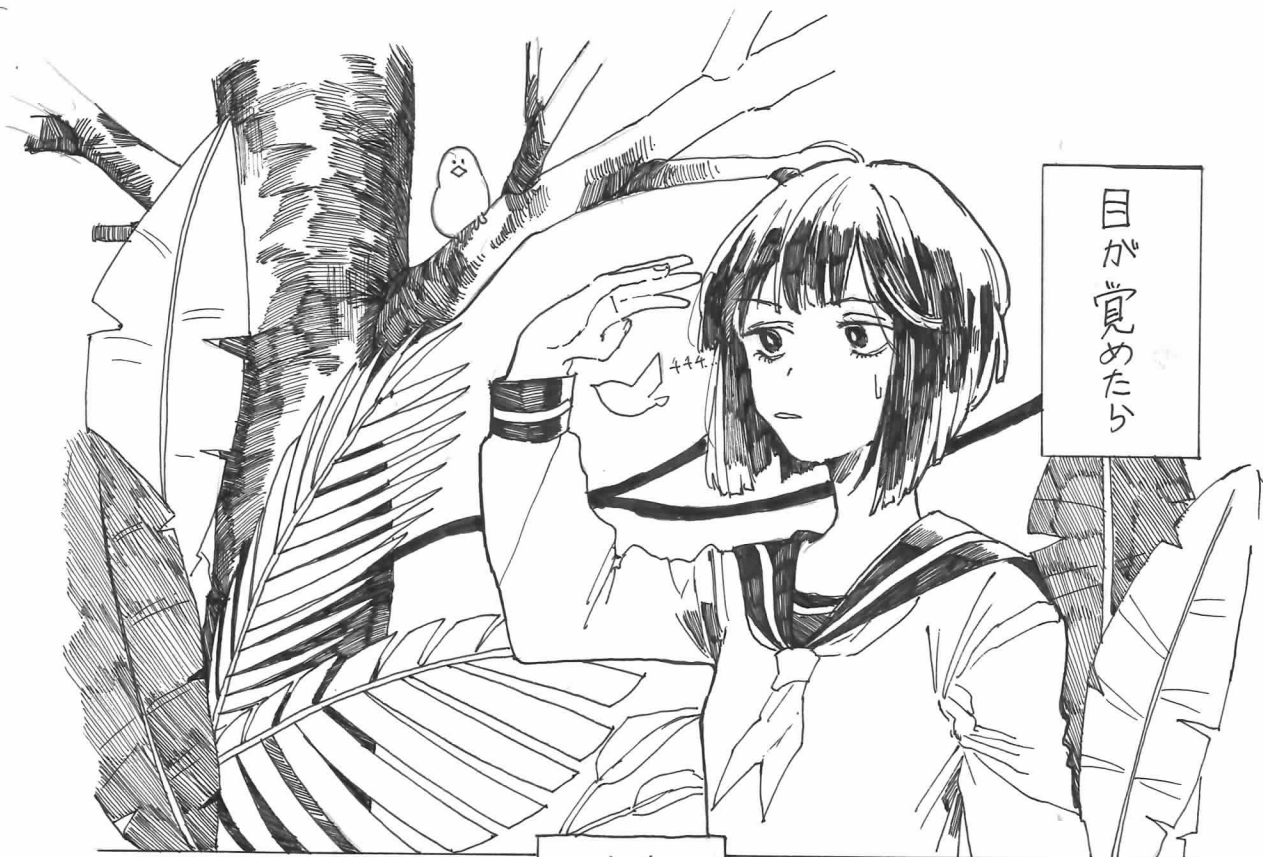
武田の首は

案外ちやういなの!!

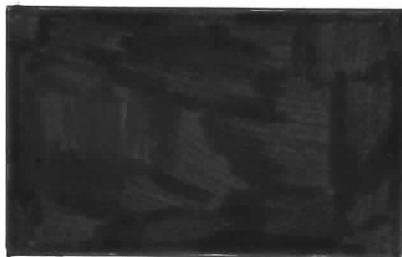
あとがき

こんにちわ! 3年の習子(りこ)です。
音楽部との兼部を3年間してきて
最後の作品を音楽部の定演の日の朝まで
かけてやっとしあげた 強者です。
オゾ設定・雑ワオリティですが悔いはないです。
読んで下さりありがとうございました!

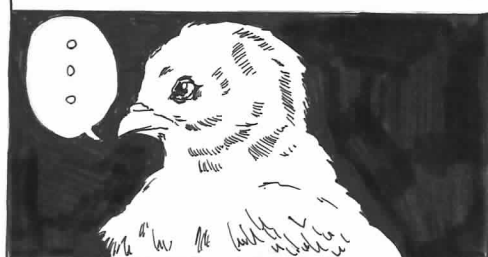
p.s. 背景? 全身? なにそれおいしいの? 習子



目が覚めたら

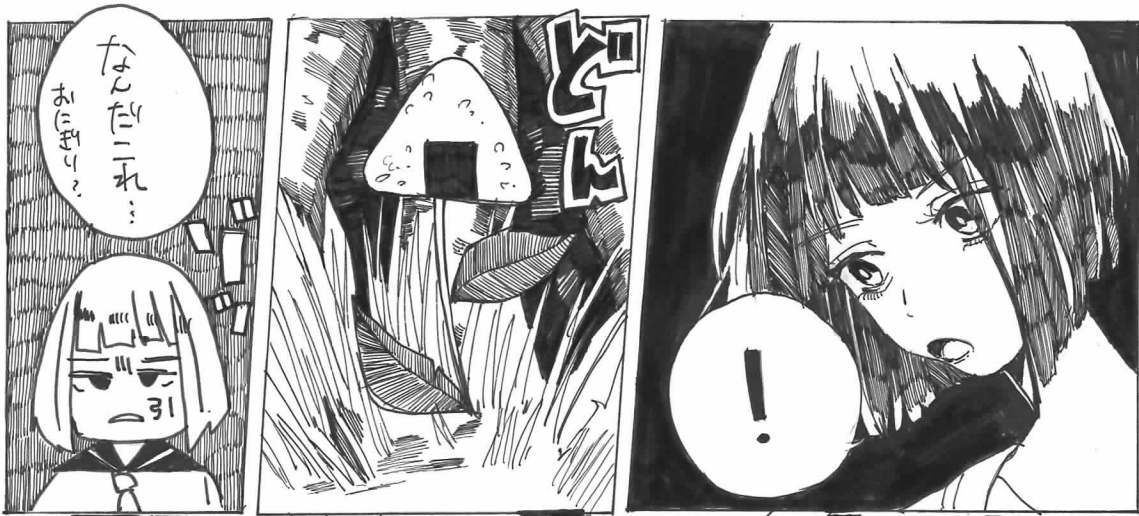


ジャングルだった



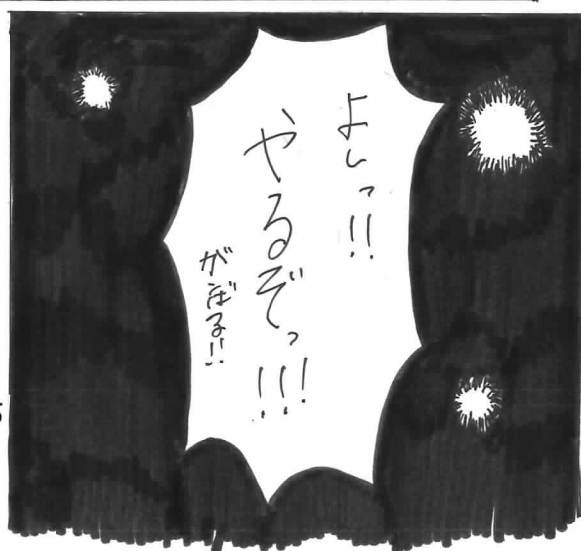
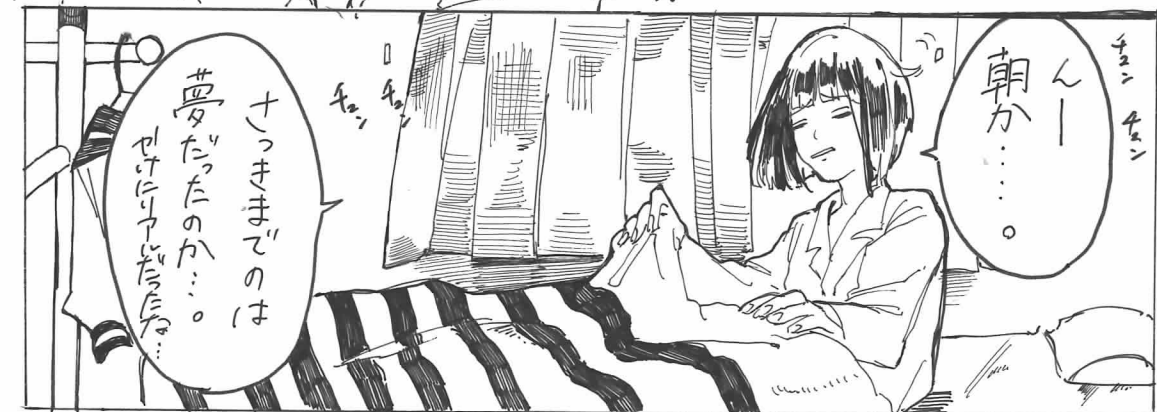
とりあえず
歩こう……。

どうして
こうなった？











あとがき
 内容がとてもうすいです。
 でも最後に絵も頂戴するのとが
 できてよかったと思...ます
 ありがたうございました!!

と3巻に3
 服のデザインが変わりましたか
 お気に存じます...

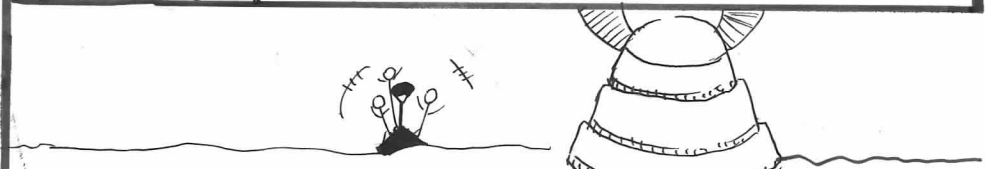
元暦二年（西暦二八五年）三月十九日、

屋島にて行われた源平合戦「屋島の戦い」

源 義経

弁 慶

平氏軍から、「舟り矢」によってた船を射落とせしめろ」と挑発された源氏。
指揮をとる源義経は、弓矢り名人、那須与一宗高を探していた——。



海



作・four

やしまのたたかひ



ううまい



俺です!!
コンチハ!!!



那須与一 高宗

なすり うえいちむね たか



「弓引名人」と名をいおまに
あれを射てほしい。

（ぼん）

那須与一 高宗

でも呼んじゃいましたもん

怖いけど



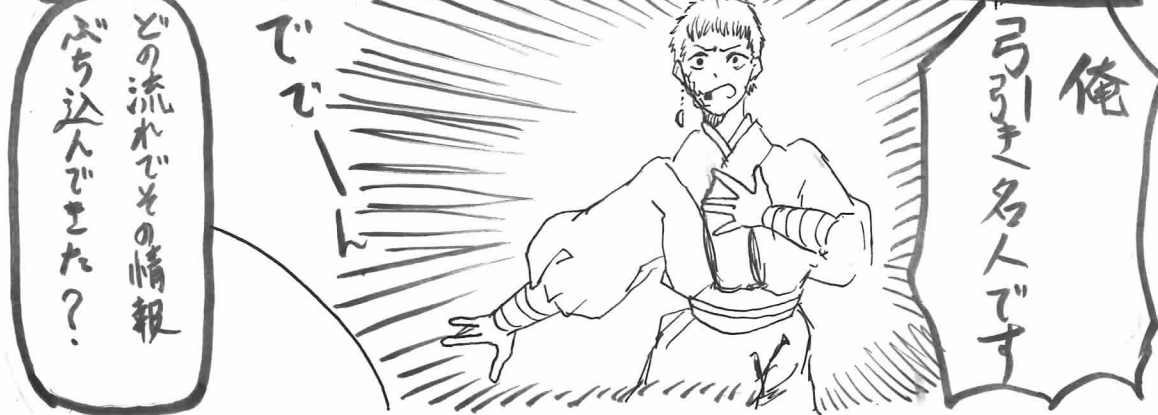
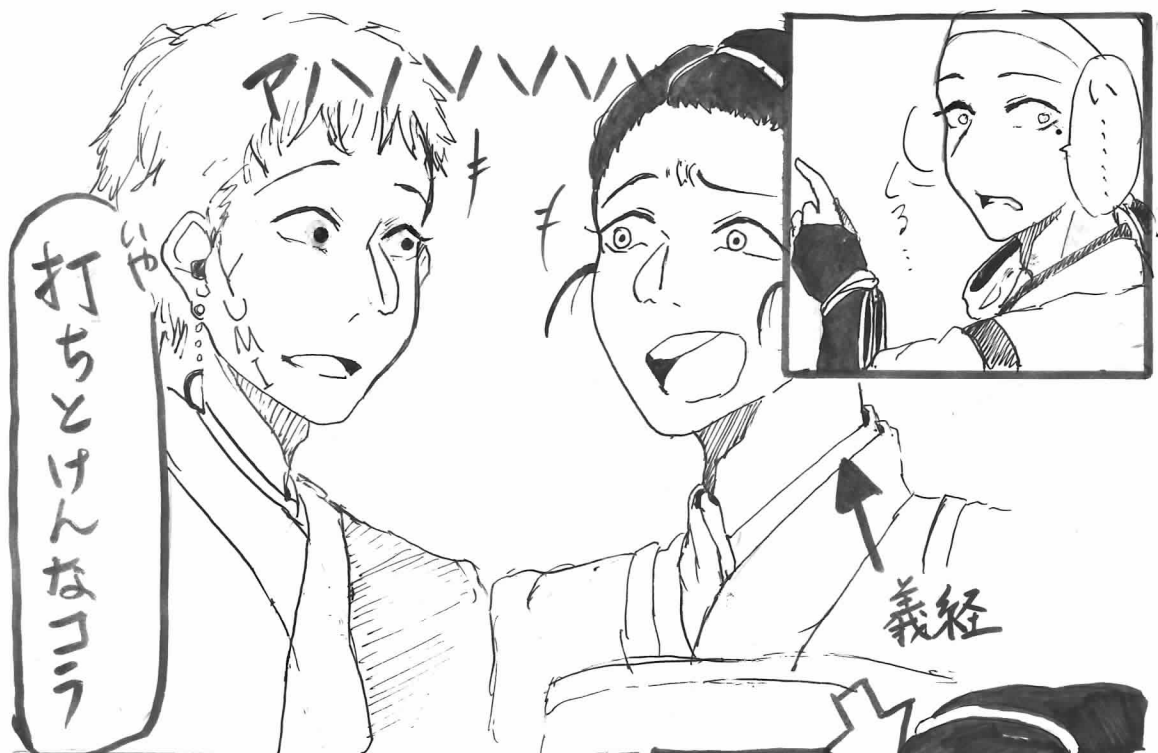
あと爪もやさい

コンチハ!!!

なにこいつ

呼んだはいけど目え死んでるよ

怖い

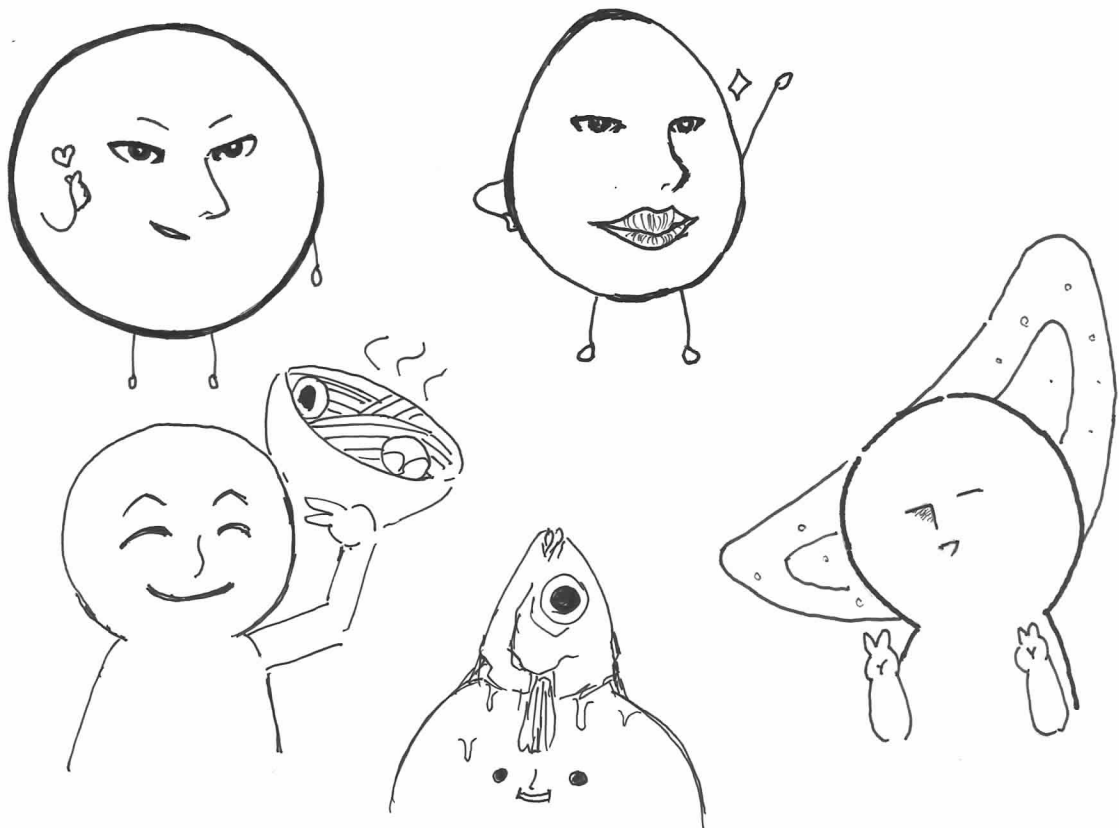




あとがき

この度は、「令和元年度 げふぁある」を
手に取っていただきありがとうございます！

締め切り当日までかかって原稿を描いた
人もいたり、部員全員の努力と熱意が
つまった一冊になりました。



げふぁある

発行日：令和元年 7月13日 発行

発行者：青森県立八戸東高等学校
漫画研究部

〒031-0001

青森県八戸市類家一丁目4番47号

印刷会社名：くりえい社

